



～ 長崎平和教育フィールドワーク ～

12月25日～26日、市教組青年部を中心に長崎平和教育フィールドワークを実施しました。1945年8月9日に長崎に原爆が投下されてから79年の月日が経過しています。青年部では、過去の悲惨な歴史を二度と繰り返さないために、平和教育の取り組みとして長崎へのフィールドワークを計画しました。

フィールドワークの1日目は、長崎原爆資料館を見学しました。原爆資料館では、原子爆弾が落とされた時刻が刻まれた時計をはじめ、原子爆弾により破壊された建物や衣服の展示、そして焼け焦げた死体の写真などもあり、あまりにも悲惨な光景に胸が痛くなりました。2日目は、長崎平和公園をはじめ、城山小学校平和祈念館などへのフィールドワークを行い平和教育の大切さを改めて実感しました。

今後も引き続き、平和教育の取り組みをすすめていきます。



～ 中教審答申に関する学習会 ～

1月8日、大阪市教育会館東館にて中教審答申に関する学習会を開催しました。講師に教育文化総合研究所・野川孝三さんを招き、「2025年度政府予算案における給特法、教員給与、教職員定数及び新しい職の内容と今後の動向」と題して講演していただきました。予算案閣議決定前の文科相・財務相の合意文の説明に始まり、教職調整額の引き上げ、担任手当が導入された場合の留意点、教職員定数、「新たな職」の職務内容や配置人数と給与水準、通常国会で審議・追求すべき点まで、詳細に解説していただきました。最後に給与面の改善だけではなく、長時間労働の縮減のために学習指導要領の学習内容の縮減、標準授業時数の削減、部活動の地域移行も並行して進めなければならないとまとめられました。

続いて松岡委員長より、市労連闘争の成果と課題について報告がありました。数次にわたる折衝を積み重ね、12月23日の小委員会交渉で市当局より以下の提案を引き出しました。
①扶養手当の改定…国家公務員と同様の支給水準となるよう見直す：配偶者 6500円（現行）→3000円（25年4月）→0円（26年4月） 子 10000円→11500円→13000円 16～22歳の子にかかる加算措置 6000円→5000円（25年4月）
②妊娠障害休暇の改正…7日（現行）→14日（25年4月）※政令市移管により改悪された制度を復元
③子の看護休暇の改正…子の行事参加（入園式・入学式、卒園式・卒業式）等にも利用できるよう取得事由を拡大するとともに名称を子の看護等休暇に変更 ※市教組は、取得事由の更なる拡大に向けて交渉を継続中（なお、詳細については号外をご覧ください。）

… 大阪教組養護教職員部学習会 …

1月11日、たかつガーデンにて、大阪教組養護教職員部学習会が開かれました。「コロナワクチン問題の現実！後遺症の治療方法は？」と題し、宝塚市の外科医・児玉慎太郎さんの講演を聞きました。児玉さんは生い立ちなど話される中で、阪神淡路大震災を経験し、地域に貢献できる医師になることを強く決意されたそうです。コロナ禍に、外科医ながらもコロナ患者の訪問医療を続けられ、そんな中、コロナワクチン接種後、「体調がすぐれない」「不調が続く」多くの患者を診るようになられました。患者の血液検査を行い、その多くのデータの分析結果を、学会で発表をされました。ワクチン接種により、それまでの生活ができなくなり、苦しんでいる多くの方がいる現実と、その確固たるデータを基に厚生省への働きかけを行うそうです。ワクチン問題については、以前から取り組んできた組合。様々な方向や側面から物事を見ることの大切さを学びました。



… 「多文化共生教育をめざす大阪市民の会」対市交渉 …

12月16日、市役所にて「多文化共生教育をめざす大阪市民の会」と教育委員会との協議が行われました。

2学期に行った「国際理解教育推進事業の拡充と予算増額を求める要望署名」の手交、市民の会代表の挨拶の後、協議が進められました。民族学級の位置づけと意義については、特に未設置校における民族交流会の参加について周知・引率も含めた外国人教育主担の役割や支える体制を各校でつくれるようにしてほしいとの要望しました。すべての教職員が人権感覚を学び・磨くことの大切さ、差別を見抜くことができる研修や学習会を行ってほしいとの要望もありました。民族講師の増員、また民族講師がこれまで担ってきた知識・スキルに対してそれに見合った賃金・手当を支払うこと、多文化共生の教育事業や施策は行ってきているが成果と課題を明らかにしていくこと等の要求もありました。保護者や地域の方々からも参加や声を挙げてもらい交渉をすすめることができました。今後も検証を重ねていくことを確認して協議を終えました。



2月の組合費の引き落としは

2月20日(木)

※働きがいのある職場を実現するため、なかまの声かけて組合員を増やしましょう！

広報部メモ

転勤して気づいたことがある。チャレンジテストでの学力格差を感じた。2015年から始まったチャレンジテストも今年で10年になる。「中学校間の評価の不公平さをなくす」ことを目的にしているはずが、得をする学校があれば損をする学校もある。地域によって差が大きくなり格差が生じている。不公平ではないのか、、、。(T)

== 中央委員会 ==

1月22日、大阪市教育会館にて第420回中央委員会が開催されました。議長に武藤中央委員（東部支部）が選出され議事が進められました。

松岡委員長は冒頭の挨拶で、今国会に提出された給特法・学校教育法の改正案が成立したときに教育委員会と協議すべき内容について、そして今年度の市労連の取り組みの成果についての説明がありました。

続いて執行部より「当面の闘争方針推進に関する件」「2024年度上半期一般会計並びに特別会計決算報告」の提案、決算報告に対する会計監査報告がありました。提案に対する質問はなく、討論では4人が参加し、長崎フィールドワークに参加した感想や、各専門部の取り組みが紹介されました。採決では原案が圧倒的多数の賛成により可決・承認されました。

（討論内容は以下のとおり）



高岸中央委員（南部支部） 12月25～26日、長崎平和教育フィールドワークに参加しました。原爆資料館や平和公園を回る中で、自分が知らないことがたくさんあると感じました。特に心に残ったのが、アメリカも含め外国の科学者が原爆使用に反対していたことです。原爆により被害を受ける人たちのことを考えてのことだったそうです。現地に行って学ばないと分からないことが多くあります。今後もこういった企画に参加していきたいです。



戸田中央委員（女性部） 12月7日、女性部でカムバックセミナーを開催しました。先輩組合員からは復帰してからの一日の流れなどを詳しく聞かせていただきました。吉川副委員長からは、子どもが病気になったときにどのように対応するのか、パートナーの方と話し合っておく方がいいとのアドバイスと、子育てに関する権利について話していただきました。女性部は、2月1日に西成区民センターで「いっしょにふえすた」を開催します。

宮尾中央委員（事務職員部） 11月29日に「教育費予算について」と題して学習会を開催しました。会場・オンライン合わせて80人近くの参加があり、ニーズに合った開催方法の必要性を実感しました。事務職員部の執行委員が講師を務め、国や大阪市の予算編成過程について知見を深め、各学校における予算編成においても、各校の課題やめざしている姿などしっかり把握し、知っておくことが重要であると再確認しました。



辻岡中央委員（養護教職員部） 12月7日、「看護師さんと性教育を学ぼう part 2」と題して、市教組教研に引き続き看護師の伊藤悠子さんにお話をいただきました。性教育は自分の人生を育むためのベースであるとし、子どもが巣立つための要素として「健全な愛着」「境界」が形成されていることと「自分がここに／何も考えずにいられる」安心・安全な居場所が必要ということ、性の多様性についてなど、詳しく説明していただきました。



訃報と哀悼のお知らせ

大阪市立西島小学校の増田新先生（享年57歳）が病氣療養中の処、薬石効なくご逝去されました。増田先生には長年、組合活動にご尽力いただき、その温厚な人柄から教職員や多くの子どもたちから慕われておりました。増田先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



// ライフプランセミナー //

1月18日、大阪市教育会館にて50歳・51歳となる組合員を対象に「ライフプランセミナー」が開催されました。これまで50歳の方を対象として毎年開催してきましたが、コロナ禍以降、組合員数の推移等も勘案し、概ね隔年での開催とし、2022年度以来のセミナーとなりました。講師にファイナンシャルプランナーの大石泉先生を講師にお招きし、「豊かなくらしのためのライフ&マネープランニング」と題してお話いただきました。

ライフプランをどう描いていきたいのか、現在の収入状況等を把握し、どの年齢のときにどんな生活をしたいのか。また、それにはどのぐらいのお金が必要になってくるのか、など参加組合員に問いかけながら自身の思う豊かなくらしをイメージすることの大切さをお話いただきました。アンケートでは、参加組合員からも「良かった」「大石先生のお話を金融リテラシーの授業として受けられる高校生がうらやましい」などの声をいただきました。

市教組から、これまで頑張ってくられた組合員みなさまへの感謝の言葉と記念品を贈呈し、市教組として今後も関係団体と連携し、組合員の仕事と生活を支えていく決意を述べ、会を締めくくりました。



◇ 書記局移転のお知らせ

大阪市教育会館の老朽化に伴い建て替えとなりました。新しい会館は中央大通側ではなく、難波宮跡東側の道を通って南側に入り口があります。市教組書記局は7Fにあります。

（新住所は中央区法円坂1-1-18、電話番号は変わらず06-6942-3561です）

なお、全市分会代表者会議や学習会等は、「大阪市教育会館 東館」で開催します。

